北九州市立尾倉中学校　学校通信　第144号

尾倉（おぐら）

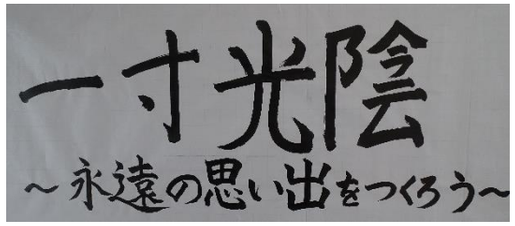
<校訓>
自主
創造
協力

令和4年4月20日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞
豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～
＜目指す生徒像＞
① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
② 健康で明るく、思いやりのある生徒
③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

修学旅行のスローガンが決まりました！

4月15日（金）6校時の学年集会で修学旅行のスローガンが発表されました。今年のスローガンは、「一寸光陰～永遠（とわ）の思い出を作ろう～」です。素晴らしいスローガンです。「一寸光陰」の意味は、「わずかな時間であっても、決してむだにしてはならないということ」です。「光陰」とは、時間のことで、「少年老い易く学成り難し（若い時期はすぐに過ぎていくのに、学問はなかなか一人前にならない）」のあとに続く、漢詩の一句です。このスローガンに負けないように、3年生全員で協力して、最高の思い出を作りましょう。



修学旅行実行委員です！
実行委員長
班　長
保　健
食　事
美　化
生　活

生徒の皆さん、どうして学校生活でスローガンが必要なのでしょうか。学校や会社、スポーツチームなど、スローガンを掲げるのは必ず複数の人がいる場面です。複数の人がいるということはそれぞれに考えや思いがあります。多くの人が個人の意見や考えで行動をとると、みんながバラバラなことをしてしまいます。そうなるとチームワークが成立しにくく、目標を達成することが難しくなってしまうのです。そこで、多くの人がいる場面では目標とすることをスローガンとして掲げます。そうするとみんなが同じことを目標として動けるので、まとまることができるのです。スローガンとは重要な役割をもつものなのです。

自分を変化できる人間に～ダーウィンの言葉～

新学期が始まって、まもなく2週間が経とうとしています。22日（金）には部活動発足式があり、いよいよ、尾倉中の令和4年度が本格的にスタートします。

●1年生の皆さん、学校生活には慣れてきたでしょうか。学年集会で話したように、「自分を変えよう」という気持ちが高まってきましたか？先週にくらべると、挨拶の声も随分出てきました。2・3年生にくらべるとまだまだ元気が出ると思います。「変わる」ということは、友達の新たな面に気付くということでもあります。この時期に、「悪く変わろう」という人なんていません。誰もが、「よく変わりたい」と思っているのです。そんな「変わろう」としている人を、お互いに応援してください。「あの人は小学校の時～だった」とか考えることもあるかもしれませんが、皆さんは友達の成長を認めることができる中学生になったのです。今から先輩と一緒に「自分を変え」、尾倉中の伝統を築きましょう。

●2年生、中堅学年です。部活動では3年生は夏で引退、そのあと皆さんが中心です。生徒会も秋には役員改選があります。3年生が入試に向かってスタートするということは、2年生が同時に「尾倉中の顔」になるということです。学校生活でも素直で、積極的で、頑張れる学年です。今のまま、3年生の跡を継ぎ、尾倉中を支えてください。

●3年生、今年は2泊3日の修学旅行が実施できそうです。ただし、今後の感染状況によっては、今年も京都や奈良には行けないかもしれません。でも、義務教育の最終学年。自分の手で進路を切り開く時です。一瞬一瞬を大切に過ごし、友だちと共に、進路実現を目指していきましょう。最後まで努力できる人間に。頑張ろう！

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

今年も尾倉中の学校生活の合言葉は「規律」「感謝」「情熱」です。特に、「情熱」が中学校時代のもっとも大切なキーワードだと思います。「めんどくさいな」「なんであいつは必死にやっているんだ」と思ったことはありませんか？でも、「情熱」をもち「一生懸命」にすることが、成長の証です。「一生懸命」が友達、家族、自分自身を感動させ、人間として大きく成長させるのです。「できる」「できない」ではなく、「やる」か「やらないか」です。 小さなことにも一生懸命、必死に取り組めるそんな素敵な中学生になってください。昨年度と同様、次の言葉を贈ります。2・3年生は思い出してくれましたか。この『5つのあい』は、中学校生活を豊かにするものです。

◎「出あい（出逢い・出会い）」
➡ 新たな先生との出会い、新たな級友との出会いを大切に。人間関係を築いていく第一歩です。
◎「認めあい（認め合い）」
➡ 自分と違う個性や特性など、お互いの違いを受け入れることから人間関係づくりが始まります。
◎「教えあい（教え合い）」
➡ 相手のことを大切と思う気持ち、相手を信用する気持ちがあるから教えあいが可能になります。
◎「励ましあい（励まし合い）」
➡ 仲間と励ましの声をかけあうから困難から逃げずに、打ち克つ（うちかつ）ことができるのです。
◎「高めあい（高め合い）」
➡ 出会いから一年後に、自他の成長を実感できる学級、学年、学校になる取組を継続しましょう。